



Base
[ベース機]

今回TAKU氏の手によってビルドされたターンエーガンダムシンは、彼の恩師が生み出したオリジナルを元に、ミュージシャンの氏らしく“カヴァー”されたものだ。今回はそのオリジナルも紹介。長年かけた完成形というだけあり、強者の風格を感じさせる出で立ち、そして驚かした完成度を誇っている。ガンプラバトルでは、一体どれほどの強さを示すのだろうか。

「ターンエーガンダムシン Covered by TAKU」

製作文/TAKU

数あるガンダムの中でも、独特な雰囲気を持ったターンエーガンダム。神秘性とも表現出来るそのデザインのバリエーションは、ある意味で非常に触れ難いものではなかっただろうか。今回その聖域に手を伸ばしたのは、最近バラエティ番組にも活躍の場を広げる人気ミュージシャン、TAKU。厳密には彼独自の作品ではないようだが、その実は果たして……？

Covered by TAKU 1/144 SCALE PLASTIC KIT “HIGH GRADER(SORATCHI)”



”
のター
ンエー



∇ GUNDAM SHIN
 Covered by TAKU



武装はターンエーガンダム標準のものが装備されているが、撃部分からフィールドビームドライヴ制御によるフォースフィールドを発生させ、防御および衝撃波による攻撃を主体としたバトルを想定しているようだ。

プラスフィキータ粒子制御のためのアンテナや貯蔵タンク、強化バーニアの追加により各部の形状がターンエーから変化、既存のガンダムイメージへと先相違りのフェイスが逆に新鮮だ。カラーリングでは、さらに色味や細部のカラーリングをアレンジ、顔や胸などのイエローはTAKU氏がガン☆コレで使用した黒いターンエーを踏襲。





フラットな描面に着目したTAKU氏は、オリジナルには無い剛し味を採用していた。それがオーイザーを流用した後なりの強化提案、名付けてターンエーライザード。他作品のメカニックではあるが、鋭角的なラインのターンエーガンダムジンと驚きの調和を現している。だが、全てのガンダムを包含するターンエーにあっては、これも必然なのかもしれない。



△ GUNDAM SHIN

Covered by TAKU

大空へ運動する姿も、大地を踏みしめる姿も、ターンエーにはよく似合う。頭部、両肩、胸部、フロントアーマー、ニーアーマーの形状が変更されたターンエーガンダムジンでも、その美しいさは何ら変わりよつがない。



ターンエーガンダムジン

製作：タクト

これを跳んでくれているみんな、リズベクト「尊敬する人は居るかな？……3代目スゴツクのボーカル兼リードギターを担当するリダーだつて？ それはありがと〜。もちろん僕にも居るよ、リズベクトしつ〜目標にしている人。」

今回僕が組み上げたこいつはその尊敬する高校時代の恩師が生み出したものをそのまま「バク……いや、言葉が悪いね、再現したガンフらなんだ。少し前、僕は派手にロクッソロールしてしまつた。つまり順風満帆な人生の中で、初めて腹の下から挫折を味わつたのさ。ホント、色んな意味で折れた。」

長年かけて作り上げた完成形だと彼が言うターンエーはその辺のスターよりも眩しい輝きを放っていたね。何処からともなく現れた彼の知り合い……ラルさんと呼ばれていたかな。そのオジさんも絶賛していたよ。

オジさんの興奮をよそに、彼は僕にこう言うてくれた。「AKU、君自身の完成はまだまだ先なんだろ〜。こいつは僕からギタビックが落ちる思いだつたね。このターンエーに行き着くまで、彼は数えられないほどのトライアンドエラー、挑戦と失敗を繰り返してきたんだ。一度の失敗だけで捨てるんじやない、まだまだ挑戦するんだつて。言葉にするのとありきたりな青い理想を、僕の大好きなガンフを通じて伝えてくれたのさ。」

そんな彼への感謝と自分への戒めの意味も込めてこいつを再現してみたんだけど、パーツを組むたびに思い知されたよ。ターンエーガンダムをこう表現するなんて、やっぱりあの人はは敵わない……でも、これからの僕なら今は素直にそう思えるんだよ。

そうだ、ジンという名前の意味は、最後まで教えて貰えなかった。ビルダーである彼の名前から取ったか、真のターンエーなのか、あるいは新なのか、神、心……進それはこいつを見た人が思い思いに感じれば良いんだ、さうね。



たく……あの頃の記憶が、生れながら上へは、機動力ガンダムといふ作品に、彼が持つべきものを得た。彼が持つべきものを得た。彼が持つべきものを得た。彼が持つべきものを得た。

メカデザインチーム・アストレイズによる ターンエーガンダムシン(オリジナル)の スペシャルイラストを公開!!!

もはや恒例ともいえる再現設定画の紹介。今回はどこから情報を聞きつけたのか、編集部我突然現れた紳士の提案により、半ば強引に描き下ろすイラストが誕生した。巻き込まれたアストレイズの皆さんには感謝しかありません。紳士……いや、ラルさんにはキツク言っておきますので。

